

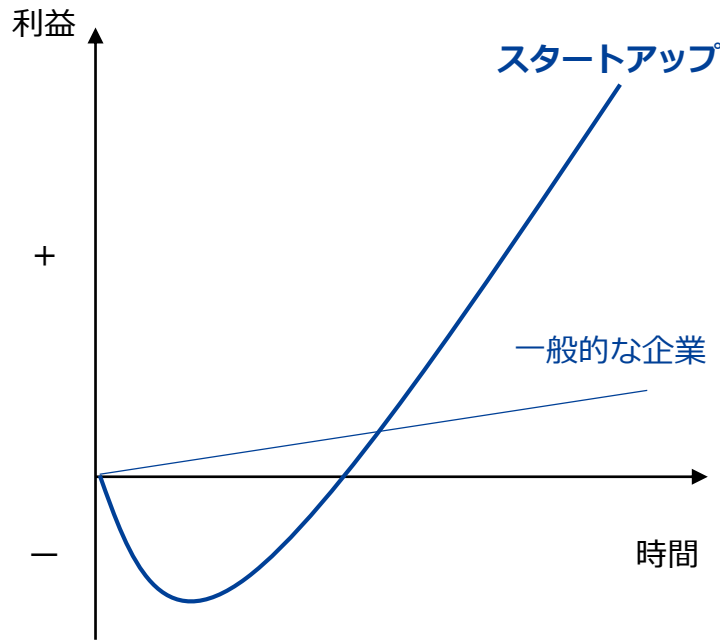
スタートアップの現状と課題

2026年3月

1. スタートアップとは

- スタートアップとは一般に、新しい企業で新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、急成長を目指す企業です。
- 政府は2022年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を公表し、スタートアップへの投資額を5年で10倍（10兆円規模）にする目標を設定しています。
- 将来的には100社のユニコーン企業（時価総額10億ドル超の非上場）創出、10万社のスタートアップ創出によって、日本を世界有数のスタートアップの集積地とすることを目指した取り組みが行われています。

【スタートアップのイメージ】



2. スタートアップと起業の現状

- スタートアップを含む**起業者の総数は減少基調**ですが、**29歳以下の起業者数は逆に増加基調**。若者の起業に対する意識に変化が見られます。2025年のスタートアップ数は25,000社（2021年比約1.5倍）、大学発スタートアップは5,074社（2021年比約1.5倍）と増加し**裾野は拡大**しています。
- 開業・廃業の状況を見ると、都市部と地方の格差が存在しており、高知と徳島では廃業率が開業率を上回っています。大学発スタートアップは地方の増加も見られますが、事業拠点は総じて**東京都に集中**しています。

【開業・廃業の状況】



	開業率	廃業率
東京	4.4%	3.3%
大阪	4.2%	3.1%
兵庫	3.9%	2.9%
岡山	3.7%	3.2%
広島	3.3%	2.8%

	開業率	廃業率
徳島	2.8%	3.2%
香川	3.2%	3.0%
愛媛	3.2%	3.0%
高知	3.0%	3.4%
全国計	3.9%	3.3%

(出所) 経済産業省_2024年度小規模企業白書を一部加工

スタートアップ数 <KPI:10万社>

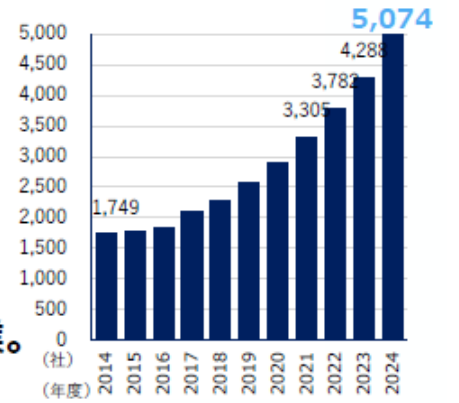
対2021年比で約1.5倍に増加

(2021年: 16,100社 → 2025年: 25,000社)

大学発スタートアップ数

毎年増加傾向で、
2024年は過去最高の伸び。
増加分の約57%は東京都以外で創業。

(2021年: 3,305社 → 2024年: 5,074社)



国内ユニコーン数 <KPI:100社>

ユニコーン企業

2021年: 6社 → 現在: 8社

上場企業と合計すると、
累計ユニコーンは**41**社強。

諸外国のユニコーン企業数

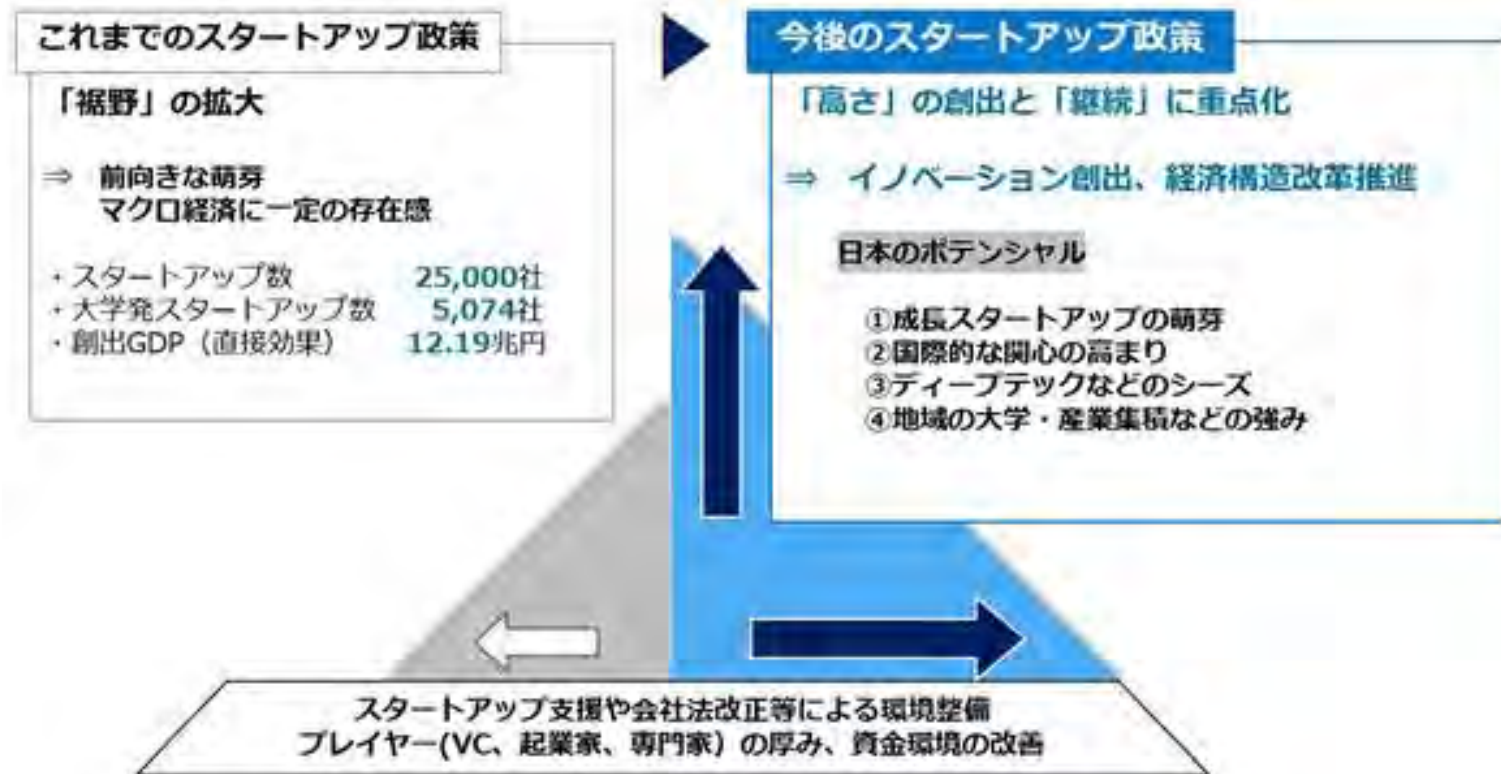
米国: 690 シンガポール: 15
英国: 55 韓国: 13
フランス: 31

	企業名	所在
1	Preferred Networks	東京都
2	スマートニュース	東京都
3	Playco	東京都
4	SmartHR	東京都
5	Spiber	山形県
6	Opn	東京都
7	GO	東京都
8	Sakana AI	東京都

(出所) 経済産業省_スタートアップ・エコシステムの現状と経済産業省の取り組みについて2025.12.2

3. スタートアップ育成の課題と今後の方向性

- 政府の積極的な取り組みもあって国内ユニコーンが誕生しているものの、諸外国と比べるとその数は多くありません。スタートアップ育成5か年計画の取組み後半の課題は、**スタートアップの「高さ」の創出と「継続」**です。
- 地域によってスタートアップ育成の取組みにばらつきがあり、**地方では裾野を広げる余地**が残っています。エコシステム(地域全体で支援する枠組み)の強化によってその裾野を広げ、起業数を増加させることがまだまだ必要です。
- また、**関係者間の連携と役割の深化**を行うことで、実効性の伴うスタートアップ支援を行う必要があります。



(出所) METI Journal 政策特集/日本のスタートアップは次のフェーズへvol.1_2026.1.15

4. スタートアップへの支援

- 政府によるスタートアップ支援は多数用意されており、令和7年度補正予算より一例を紹介します。
- スタートアップによく見られるニーズは、資金調達、人財確保と組織構築、開発、顧客の獲得等があり、それらに応じた支援策が展開されています。

政府による支援例 (令和7年度補正予算)

中堅・中小・スタートアップ企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金【4,121億円(新規2,000億円)】

地域の雇用を支える中堅・中小・スタートアップ企業が、足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して大規模投資を促進することで地方においても持続的な賃上げを実現する。

中小企業基盤整備機構による債務保証制度の拡充事業【19億円】

ディープテックスタートアップの資金調達手段の多様化の観点から、中小企業基盤整備機構が実施するディープテックスタートアップ向けの債務保証制度の対象を拡充し、上場後も含めた成長を支援。

グローバル・スタートアップ創出支援事業【46億円】

国内主要大学・高専の学生や若手起業家らを対象にした海外派遣・育成プログラムの実施、国内スタートアップ・イベントへの国内外のトップ投資家・起業家の招聘などにより、海外からの資金調達や国内外での事業拡大が可能なユニコーン級のスタートアップを創出する。

地域の枠組みなど

しぎん地域活性化ファンド

しぎんキャピタルパートナーズが運営するスタートアップ等を投資対象にしたファンド。
現在2号ファンドで8件の投資実績。

ベンチャーキャピタル

未上場のスタートアップ等を対象に出資等を行いキャピタルゲイン獲得を目指す投資会社(ファンド)。

中四国スタートアップ ランウェイ

中四国エリアで活動する起業家やスタートアップ、再成長を目指す中小企業などを支援するための民間のプラットフォーム。

J-Startup WEST

中国経済産業局と四国経済産業局が行う「J-Startup」の地域版。
エコシステム強化とスタートアップ育成を目指し、官民連携で集中支援を行うプラットフォーム。

こうちスタートアップパーク

高知県が運営する、起業に向けた取組みのサポートを行う起業支援のプラットフォーム。

高知イノベーションベース

メンターシッププログラムやラーニングプログラムを通じて高知の次代をつくる、民間の起業家創出プラットフォーム。

【参考】四国のスタートアップ

- 地域発（四国）のスタートアップ企業の一例です。
- 経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム「J-Startup」の中四国版に「J-Startup WEST」があります。
①先進性、②成長性、③イノベーション、④経営者の意欲、⑤インパクト、⑥地域性、⑦実現可能性
の7項目の観点で審査が行われ、総合的に高い評価を得た案件が選定されています。
- 高知県の選定企業は、合同会社シーベジタブル、株式会社サンシキ、株式会社パンクチュアルの3社です。



【参考】しぎんキャピタルパートナーズ投資実績先（成長支援）

- しぎんキャピタルパートナーズの投資実績先（成長支援）は3月10日現在で8社です。
- 投資先のMediTech株式会社は、当行の推薦で四国アライアンス 第8回ビジネスプランコンテスト（2025年11月開催）に出場し奨励賞を受賞しました。
- 当行グループでも様々な枠組みを活用、連携してスタートアップ支援を行っています。スタートアップ支援のご相談は四国銀行までお願いします。



株式会社allbeans [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2025年5月



MediTech株式会社 [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2025年5月



株式会社バイウィル [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2025年9月



株式会社coco [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2025年10月



株式会社ATOMica [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2025年12月



ハコベル株式会社 [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2026年1月



株式会社おてつたび [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2026年2月



ベルフェイス株式会社 [📄](#)

投資形態：成長支援

投資時期：2026年2月